

平成17年10月18日

学生・教職員 各位

学 長 成瀬龍夫  
財務・施設担当理事 斉藤和信

## 滋賀大学のアスベストに関する調査結果と対策について

現在、社会問題化しているアスベスト問題について本学では、「吹き付けアスベスト」、「吹き付けロックウール」、「吹き付けひる石（パーミキュライト）」、「折板裏打ち石綿断熱材」の使用実態調査を行うと共に、室内のアスベスト粉塵濃度を測定するための「環境測定」を行った。

調査は全学の施設を対象に行い、使用実態調査の現地調査結果については9月13日に「滋賀大学のアスベスト問題への対応について」で施設管理課ホームページでお知らせし、分析結果については9月30日に施設管理課ホームページで発表を行うと同時に教職員に対し学内メールで配信を行っているところですが、本日10月18日に環境測定の結果を得たのでその調査結果とアスベストが使用されていることが確認出来た施設についての今後の対策についてお知らせします。

### 記

#### 1 調査の内容

##### 【使用実態調査】

本調査は、本学の全施設について調査を行ったものであり、施設管理課職員による使用実態現地調査により9施設52室において吹き付けアスベスト等の使用の可能性のある建物について調査時にサンプリングを行い外部分析機関で含有の有無に係る「アスベスト含有分析調査」を依頼した。

##### 【環境測定】

また、室内へのアスベスト粉塵の飛散を確認するために外部分析機関による「環境測定（粉塵濃度測定）」を6施設12測点で行った。

#### 2 調査結果

##### 【使用実態調査】

「アスベスト含有分析調査」の結果、1施設（教育学部の美術・技術・職業棟の14室）にアスベストの含有が確認され、残り8施設については検出は認められなかった。

##### 【環境測定】

「環境測定」の結果、6施設12測点の全てにおいて一般環境で検出されるアスベスト濃度と同レベル、または、下回る測定結果が報告された。

調査結果は項尾調査結果一覧表による

#### 3 調査結果に基づく対策

##### 【教育学部 美術・技術・職業棟】

教育学部 美・技・職棟の天井吹き付け仕上げ材については、アスベスト含有の定量分析の結果、クリソタイルが3.0%含有されていることが明らかとなった。また、絵画実習室（1）、彫塑実習室（1）において行った空気中のアスベスト濃度は、測定を行った結果、検出は認められなかった。

環境省が行った平成7年の一般環境で検出されるアスベスト濃度は、1リットル当たり0.04本～1.96本の範囲にあり、滋賀県草津市の平成17年の測定結果は0.15本～0.23本、昭和63年から平成元年の測定結果は0.27本～0.61本の範囲となっている。この知見と比較すると当該室内には発生源がないと判断される。

美・技・職棟の絵画実習室等については特定多数の学生、教員が使用する建物であり、現

状では室内に粉塵が飛散している状況は見られないが、アスベストを含有する建材が存在することは事実であり、今後、建物の劣化によって飛散する可能性が否定出来ないこと、天井材料の封じ込みや囲い込みにより飛散抑制は可能であるが、抜本的な対策を先送りすることによりメリットがないことから速やかに除去をすることとする。

なお、除去工事を行うまでの間、当該室においては粉塵は認められず、応急措置が施してあり使用することは可能である。

#### 【その他の8施設】

本部・保健管理棟などの8施設の天井吹き付け仕上げ材については、アスベスト含有の定量分析の結果、アスベストの検出は認められず、空気中のアスベスト濃度は『検出は認められず』～1.1本/1リットルであった。

これらの濃度は、大気汚染防止法上の敷地境界基準濃度である10本よりかなり低い値であり、環境省が行った平成7年の一般環境で検出されるアスベスト濃度0.04本～1.96本、滋賀県草津市の平成17年の測定結果0.15本～0.23本、昭和63年から平成元年の測定結果0.27本～0.61本、さらに彦根市の平成17年の測定結果0.05～0.13本、昭和63年から平成元年の測定結果0.25本～0.60本、と比較すると同レベルであると考えらる。

また、世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリアと比べても充分低い濃度であり、健康リスクは検出できない程低いことが確認されたことから使用禁止の措置を解除する。

なお、検出の認められた体育館については、今後においても粉塵濃度のモニタリングを実施することとする。

世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリア（評価基準）

世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は1本～10本/リットル程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出されないほど低い。

#### （参考）対応の経緯

- 8月18日 ・アスベスト使用実態現地調査開始
- 8月24日 ・アスベスト使用実態現地調査終了
- 9月12日 ・アスベスト使用の疑いのある室の使用禁止措置の発表
- 9月13日 ・施設管理課ホームページに「滋賀大学のアスベスト問題への対応について」を掲載（使用実態現地調査結果とそれに伴う施設利用緊急措置）
  - ・経済学部体育館のシート応急措置完了
- 9月17日 ・教育学部講義棟他シート応急措置完了
- 9月29日 ・環境測定（粉塵濃度測定）実施
- 9月30日 ・教育学部人文社会棟、美技職棟シート応急措置完了
  - ・使用材料のアスベスト含有分析結果発表
  - ・施設管理課ホームページにアスベスト含有分析結果を追加掲載
  - ・教職員にアスベスト含有分析結果をメールで配信
- 10月18日 ・「滋賀大学のアスベストに関する調査結果と対策について」を発表
  - ・「滋賀大学のアスベストに関する調査結果と対策について」を施設管理課のホームページに掲載

